

# 岐阜県中山間農業研究所

Gifu Prefectural Research Institute for Agricultural Technology in Hilly and Mountainous Areas



県民の生命と健康、環境保全に貢献する魅力ある産業として  
中山間地農業を維持・発展する「元気な農業づくり」を目標とし、  
ぎふ農業農村基本計画と連動した研究開発・地域支援を推進します。



本所  
(岐阜県飛騨市)



中津川支所  
(岐阜県中津川市)



ホームページ <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>  
Eメールアドレス [c24402@pref.gifu.lg.jp](mailto:c24402@pref.gifu.lg.jp)

# 本所

飛騨地域の主要品目を重点に、  
雨よけハウスを用いた  
夏秋トマト・夏ホウレンソウ・切り花の  
栽培試験や温暖化対策について  
研究しています。



夏秋トマト



ホウレンソウハウスの  
自動遮光



輪ギク  
「飛騨黄金」



本所育成モモ品種  
「飛騨おとめ」



本所育成  
モモ台木品種  
「ひだ国府紅しだれ」

生産者と共同育成したモモ台木  
「ひだ国府紅しだれ」は、  
全国的に問題となっている  
幼木の枯死対策に有効なことから、  
モモの台木として全国各地へ  
普及しています。



エゴマ「飛系アルプス1号」

飛騨・美濃伝統野菜「高原山椒」、  
飛騨特産エゴマの栽培試験や  
新たな加工品開発も行っています。



「ひだほまれ」  
「たかやまもち」の  
難穂発芽系統育成



# 中津川支所

東濃地域の主要品目である夏秋トマトや夏秋ナス、クリ、シクラメンなどに重点をおき、生産性向上につながる革新的な栽培技術や、ブランド力向上につながる新品種の育成に取り組んでいます。



夏秋トマトの革新的多収穫栽培システムの開発



夏秋ナスの独立ポット耕栽培技術



支所育成クリ品種「えな宝来」



支所育成クリ品種「えな宝月」



支所育成シクラメン品種「ムーンルージュ」



新技術の栽培研究会

# 沿革

## 【本所】

1923年(大正12年)7月  
1936年(昭和11年)4月  
1957年(昭和32年)9月  
1960年(昭和35年)4月  
1966年(昭和41年)4月  
1974年(昭和49年)4月  
1974年(昭和49年)9月  
1977年(昭和52年)12月  
2000年(平成12年)4月  
2006年(平成18年)4月  
2018年(平成30年)4月

岐阜県立農事試験場分場として創立  
岐阜県立農事試験場飛騨分場と改称  
岐阜県農業試験場飛騨分場と改称  
岐阜県高冷地農業試験場に昇格拡充  
国府町山本地内に果樹園を移転整備  
本館を新築(鉄筋コンクリート2階建)  
中山間農業技術研究所に改組・改称  
中山間農業研究所に改称

## 【中津川支所】

岐阜県立農事試験場東濃分場として創立(中津川市駒場)  
岐阜県農業センターに改組設立(中津川市茄子川)  
岐阜県中山間地農業試験場として発足(中津川市千旦林)  
中山間農業技術研究所中津川分室に改組・改称  
中山間農業研究所中津川支所に改称  
中津川市福岡に移転

# 施設

単位: m<sup>2</sup>

場所	建物	水田	畑	果樹園	その他	総計
本所	2,265	19,369	2,010	22,431	5,359	51,434
支所	1,769	1,070	1,772	12,370	42,619	59,600

# 人員

単位: 人

場所	所長	支所(部)長	研究員	技能職	圃場等管理 業務専門職	管理調整	(兼) 農業経営課	合計
本所	1	2	5	4	2	2	1	17
支所	—	1	5*	2	2	1	—	11

\*: 農業技術指導員含む

## 本所(飛騨市)

〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町  
是重2-6-56

電話(0577)73-2029

FAX(0577)73-2751

標高 493m

年平均気温 11.1℃ 年間降水量 1,814mm

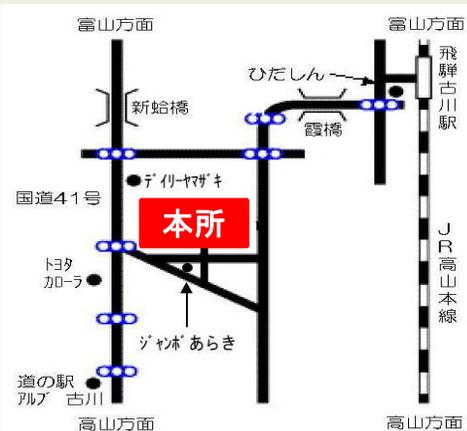
## 中津川支所(中津川市)

〒508-0203 岐阜県中津川市  
福岡1821-175

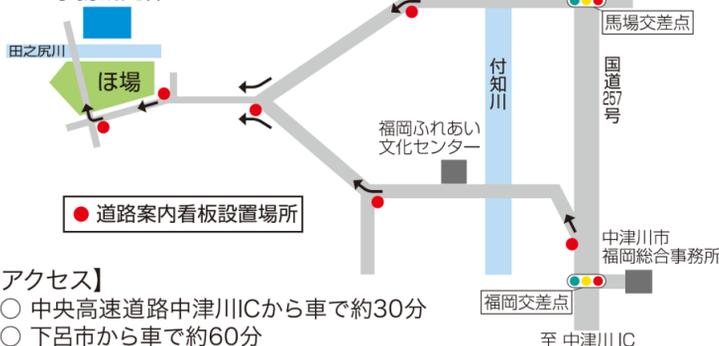
電話(0573)72-2711

FAX(0573)72-3910

標高 440m



中山間農業研究所 中津川支所  
事務研究棟



### 【アクセス】

- 中央高速道路中津川ICから車で約30分
- 下呂市から車で約60分